

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2013年5月号>

74号 2013.05.01 配信

木々の芽吹きは若葉となり、学園内のツツジは、白、ピンク、赤、赤紫と咲き競い、ほのかな香りを漂わせています。

幼稚部・初等部には、薫風をうけた色とりどりの鯉のぼりが、皐月の空を大きく、たおやかに泳いでいます。

## ■学園だより

### ●東明学林「つつじ鑑賞」のご案内

開放日時：5月11日（土）、12日（日） 10：00～15：00

問合せ先：昭和女子大学 東明学林 TEL 0465-83-5101

## ■同窓会だより

### ●4月20日（土）2013年度幹事会の報告

幹事134名、新幹事15名、来賓4名、本部役員15名、委員15名、事務局7名の計190名の参加。来賓の平尾光司理事長から学園の近況、坂東眞理子学長から「グローバル社会における女性の生き方」のお話を頂き、さらに新設のグローバルビジネス学部の久原正治学部長から「経営を学ぶ：グローバルビジネス学部の意義」についてお話を伺いました。幹事さんからの意見交換も活発に行われました。

### ●2013年度 第40回光葉同窓会総会 5月19日（日）10：30～15：00

第1部 総会 第2部 懇親会・昼食会 第3部 学生にもどろう・講義を聞きましょう!!

\*申込は5月8日（水）締め切りです。4月1日発行の会報に同封されております葉書で、ご友人をお誘いあわせの上、切手を貼らずにお申込み下さい。

## ■3月30日開催 ワーキングネットワーク合同研修会 報告

横井会長挨拶：今年度もネットワーク活動を定着・拡大化を図りたい。分科会で感じた事は伝えたい気持ちは誰もが持っている。沢山の人に向けて発信する、受信する場が、ワーキングネットワークです。集う場もあればメルマガを活用してもっと沢山の人に発信する事ができます。ワーキングネットワークを通じて仲間を増やす、話す相手を増やしてください。

### ●第1部 NHK大河ドラマの建築考証を担当している、平井聖前学長による

「大河ドラマの楽しい見方～八重の桜について」講演

スライドで撮影風景の様子を見せていただき、撮影現場の裏話も聞く事ができ、楽しいお話しで会場は盛り上がりました。

## ●第2部 報告

73号(2013・4.1配信)でお知らせ致しましたワーキングネットワーク合同研修会における分科会ディスカッション(第1部・第2部)参加者の意見をご紹介します。

(小学校教職員ネットワーク分科会の内容は次回お知らせいたします。)

◆参加メンバー：中・高等学校ネットワーク・ビジネスネットワーク・『食』関連ネットワークグループ

◆参加人数：73名(小学校40名、一部のみ8名)

### ◆第一部分科会

テーマ：「女性が働く上での悩みについて」

- (1) 家庭について・・・子育て、老親の介護、夫との関係をどのようにすればよいか。
- (2) 仕事について・・・部下の育成方法、年代間における考え方の違いをどのように埋めたらよいか。
- (3) 家庭と仕事の両立について・・・夫との家事分担方法はどうすればよいか。
- (4) 人生のことについて・・・人生岐路における選択の難しさ、退職後の過ごし方をどうすればよいか。

### ◆第二部分科会

テーマ「光葉同窓会に求めること」

- (1) 会員増加方法について・・・同窓会に参加してみると楽しく安心できる場所であるということを知ってもらいたい、とにかく一度参加して貰いたいのでどのようにワーキングネットワークの認知度を高めればよいか。
- (2) 同窓会の企画について・・・人間形成に役立つ講演会やイベントを開催して欲しい、先輩のロールモデルを見ると自分の将来も想像がつくので、具体的にどのような仕事の仕方や生き方をしてきたか教えて欲しい。
- (3) その他・・・同窓生は地方にも多いので、ワーキングも地方化をして欲しい。

年代様々な方のお話を聞いて嬉しかった、同窓生が集まり自由に話し合いを交歓するという点でとてもよかった、という意見がありました。一方、小学校以外の全てのネットワークとの合同開催だったので、多種多様な話題が出されたけれども、時間も少ないこともあり、議論の深まりに少々欠けたという意見もありました。

今後、それぞれの意見を毎月メルマガで具体的に皆様にお知らせしたいと思います。皆様のご感想やご意見も、メルマガで紹介していきたいと思っております。どんどんご意見やご感想を送ってください。

(担当：内藤 諭子)

## ■ひろげよう光の葉

萩原純子

1985年 短期大学部家政学科卒業

### 光陰矢の如し

昭和学園との出会いから35年が経ちました。そして学園との別れから2年の日々が過ぎました。学園で学ぶ園児、児童、学生の笑顔が走馬灯のように浮かびます。

顧みますと厳しい上司の指導があり幼稚部から大学までの恩師の方々との出会いが自分自身の人間形成に大きな影響を受けた事実があります。

32年前初等部に勤務されていた先生が光葉の葉を一枚ずつ刺している光景を記憶しております。あの一枚の葉が人見記念講堂の第二緞帳になり大きな感動を受けたものです。緞帳の制作指導は、昭和女子大学教授岡野都先生、そのご子息岡野栄之（ひでゆき）氏は昭和女子大学附属昭和小学校、第13回卒業生です。

現在慶應義塾大学大学院医学研究科委員長、慶應義塾大学医学部生理学教授です。2012年ノーベル医学・生理学賞受賞された山中伸弥教授とともに2006年以来iPS細胞を用いた脊髄損傷の再生医療を目指した共同研究を行っています。グローバルな視野から大変ご活躍されております。

昭和女子大学は2013年4月 新しい学部・学科が誕生いたしました。時代のニーズに合った人材を育てるグローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科です。入学受験希望者830人、入学者数164名、入学された学生も明確なキャリア目標を持ち国際的に活躍できる仕事に就きたいと大きな夢に向かって入学いたしました。環境は第3の教師と言われるかもしれませんが、勉学するボストン昭和女子大学のキャンパスは素晴らしいものです。光の葉ひとり一人も発展する学園の近況を発信していきたいものです。

昨年九月に行われた『食』関連ネットワーク発足記念シンポジウムで、卒業生勤続十年での成果を発表されたお二人の仕事に対する姿勢は大変立派で昭和学園の建学の精神「世の光となろう」そのものを感じました。これからも後輩のために道筋を照らして下さるようお願い致します。

世の中の移り変わりのはげしくはかない「世の中は三日見ぬ間の桜かな」  
生きるということ生かされている時を大切に学ぶ喜びを得ている昨今です。

End